

1月 給食だよ！



3学期がはじまります！

あけましておめでとうございます。今年も子供たちが健やかに成長できるよう、安心安全で美味しい給食作りに努めますのでよろしくお願い致します。みなさんにも苦手のものにも、どんどんチャレンジしてください。

冬休みにごちそうをたくさん食べたり、夜おそくまで起きていたり、生活リズムが乱れてしまった人も多いのではないのでしょうか。3学期も元気に登校できるように、「早寝・早起き・朝ごはん」を実践して規則正しい生活リズムを取り戻しましょう！また、インフルエンザやノロウイルスも流行する季節です。外から帰ってきたときや食事の前には、うがい・手洗いを忘れずにしましょう。

まず主食！プラス主菜→副菜汁物(飲み物)

理想の朝ごはんを目指そう

1月24日から30日は全国学校給食週間です！

明治22年に山形県鶴岡町(現在の鶴岡市)の私立忠愛小学校で、お弁当を持ってこれない子供たちのために昼食を提供したことが、学校給食の始まりとされています。その後、学校給食の取り組みは全国へと広がりましたが、昭和16年に太平洋戦争が起これ、少しずつ食料不足となり給食を提供することができなくなっていきました。

戦後、子供たちの栄養状態の悪化が心配されたことから、学校給食の必要性が叫ばれるようになり、アメリカの民間団体(LARA)から送られた物資で給食を再開することになりました。このことを記念して設けられたのが「全国学校給食週間」です。

今では豊富にある食べ物ですが、当時は大変貴重なものでした。この1週間は昔の献立を再現したり、外国料理を取り入れたりした給食を出します。ぜひご家庭でも、保護者や祖父母の皆様が食べていた給食の思い出を子供たちに話してください。

◆明治22年

◆戦後(昭和25年ごろ)

◆現在



お寺の中に関校された私立忠愛小学校の献立の一例。白飯と野菜や魚のおかずが中心でした。

パン・ミルク・おかずが基本で、外国などから送られた支援物資の脱脂粉乳や小麦などを使って作られました。

郷土食や行事食を取り入れるなど、バラエティー豊かです。また、バランスの良い食事のお手本となるよう、「教材」としての役割も担っています。

